

18.農林水産に関する施策

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	農林水産
基本方針	農業の振興		基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	18-01-①	施策名	農地の保全と生産基盤の強化	

施策の概要

土地改良施設の計画的な改修を進めるなど、農地の保全に努め、効率的な営農環境を維持するとともに、農地の活用を円滑に進めるための基盤の強化を進めます。

成果指標(単位)	世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策事業取組団体の活動面積(ha)				
	令和6年度 (※基準値)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値		497	545	545	545
実績値	497	497			

成果指標実績に対するコメント

世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策事業の活動面積は、現状の面積を維持することができたが、新規の加入組織を掘り起こすことができなかった。

施策の達成度評価

地域や土地改良区に対して補助金を交付することで、農地の保全を図るとともに、草津用水を始めとした関係機関と連携しながら、営農環境の整備を推進した。また、県営馬場山寺基盤整備事業の実施にあたり各種支援を行った。

当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.26暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる」があり、昨年度偏差値を上回る結果であった(上昇率は2.1ポイント)。こうした偏差値の上昇も踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き同事業を推進したい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

土地改良事業に係る各種支援や土地改良区との連携により、農地および農業用施設を地域と共に保全・管理できる体制整備を図っていく。また、県営馬場山寺基盤整備事業の推進のため、引き続き支援する。

当該施策は、農地の保全や生産基盤の強化だけでなく「No.26暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる」といったウェルビーイング向上にも資する取り組みであると考えており、こうした上昇傾向を踏まえ、引き続き、ウェルビーイング向上の観点からも同事業を推進したい。

18-01-①

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
農業振興地域整備計画策定事業	農林水産課	○	草津市農業振興地域整備計画に基づき、農業振興地域内農用地の無秩序な農用地のかい廃を防ぎました。
土地改良事業費補助金事務	農林水産課	○	地域主体で取り組む土地改良事業に対する支援により、施設の機能維持および更新に努めた。
農業多面的機能発揮促進事業	農林水産課	○	土地改良区を支援し、換地、評価作業に取り組んだほか、県営事業として実施設計業務に必要な経費の負担を行った。
県土地改良事業費負担金事務	農林水産課	○	県営で実施する農業用水管更新事業の事業費を負担することで、安定的な農業の確立を目指した。
農業委員会運営事業	農業委員会事務局	○	農業委員等と連携し、「遊休農地の解消」、「担い手への農地利用集積」、「新規参入の促進」に向けた取組を行った。

事務事業	担当課
農地基本台帳整備事業	農業委員会事務局
土地改良事業推進対策事務	農林水産課
人・農地問題解決加速化支援事業	農林水産課
土地改良施設維持管理事業	農林水産課
農地中間管理事業	農林水産課
有害鳥獣捕獲事業	農林水産課
単独土地改良対策事業補助金事務	農林水産課

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】										
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			
26	暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる	実数	3.6	3.7						
		偏差値	56.4	58.5						
関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】										
客観指標No. (令和7年度)			44							備考

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	農林水産
基本方針	農業の振興		基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	18-01-②	施策名	人材の確保・育成と農業経営の強化	

施策の概要

経営形態の法人化や担い手農家への支援制度の活用を推進と併せて、企業参入や、女性の農業への参画推進等、幅広い人材の確保に努めるとともに、生産性の向上、販路の拡大、高付加価値化の推進による農業所得の向上に向けて、農業経営の育成・強化を進めます。

成果指標(単位)	認定農業者数(件)				
	令和6年度 (※基準値)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値		65	66	67	67
実績値	63	57			

成果指標実績に対するコメント

高齢化による離農などにより令和7年度の認定農業者数は57件となり、令和6年度から6件減少し、目標値を達成することができなかった。

施策の達成度評価

農業者への各種交付金制度の周知を図り、農家の経営強化に努めたほか、中心経営体および新規就農者に対する補助金や、認定農業者制度についての周知等を通じて、担い手の育成を図った。また、令和6年度に作成した地域農業経営基盤強化促進計画(地域計画)について、地域の農業委員、担い手などを集めて協議の場を開き今後の農地の集積・集約について話し合いを行いました。

当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.26暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる」があり、昨年度偏差値を上回る結果であった(上昇率は2.1ポイント)。こうした偏差値の上昇も踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き同事業を推進したい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

新規の認定農業者を増やすため、認定のメリットとなる施策や支援の周知を図るとともに、多様な担い手を含めた新規の農業者確保の取組を進める。また、農地の集積・集約に向けて、地域ごとに担い手会議や全体会議を開催し、地域農業経営基盤強化促進計画(地域計画)の見直しを進める。

当該施策は、農地の保全や生産基盤の強化だけでなく「No.26暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる」といったウェルビーイング向上にも資する取り組みであると考えており、こうした上昇傾向を踏まえ、引き続き、ウェルビーイング向上の観点からも同事業を推進したい。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
水田営農推進事業	農林水産課	○	農林行政協力員の協力を得ながら、各集落に各種交付金制度の周知を図り、農家の経営強化に努めた。
担い手育成支援事業	農林水産課	○	中心経営体に対する農業用機械の購入費用や新規就農者に対する経営開始資金等の補助金を通じて、担い手の育成を図った。

■施策評価シート 18-01-②

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
農業者年金運営事業	農業委員会事務局
環境保全型農業支援事業	農林水産課
畜産振興対策事業	農林水産課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
26	暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる	実数	3.6	3.7			
		偏差値	56.4	58.5			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】								備考
客観指標No. (令和7年度)		44						

■施策評価シート

18-01-③

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	農林水産
基本方針	農業の振興		基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	18-01-③	施策名	「農」を通じたつながりの拡大	

施策の概要

草津市産農産物の消費・活用拡大のために様々な主体が連携・協働するとともに、市民が「農」や農産物の「魅力」や「良さ」、農地の持つ「多面的な機能」への理解と共感を深めることで「農」を通じたつながりの拡大に努めます。

成果指標(単位)	地元の農産物を購入しよう心がけている市民の割合(%)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	55	55	57.5	57.5
実績値	40.3	37.7			

成果指標実績に対するコメント

令和7年度も「草津ブランド市」や「草津あおばなフェスタ」、湖南農業高校と連携した「次世代マルシェ」などのイベントを開催し、草津の農産物のPRIに努めたが、令和6年度よりも2.6ポイント減少し、目標値である55%には17.3ポイント不足し、目標値未達となった。

施策の達成度評価

道の駅草津やあおばな館での草津市産農産物の販売拡大等を通じて地産地消の取組を進めるとともに、関係機関が連携してイベント等での草津の農産物のPRIに努めた。

当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」「No.26 暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる」があり、共に昨年度偏差値を上回る結果であった。こうした偏差値の上昇も踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き同事業を推進したい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

資材高騰の影響による価格上昇などにより消費者の購買行動等が変化するなかでも、草津の農産物のPRIに努めるとともに、道の駅草津やあおばな館での草津市産農産物の販売拡大等を通じて、地産地消の取組を進めていく。

当該施策は、農地の保全や生産基盤の強化だけでなく「No.19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」「No.26 暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる」といったウェルビーイング向上にも資する取り組みであると考えており、こうした上昇傾向を踏まえ、引き続き、ウェルビーイング向上の観点からも同事業を推進したい。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
「道の駅草津」管理運営事業	農林水産課	○	農業振興の拠点施設として、適切に管理運営を行い、地場産物の販売拡大に努めた。
草津ブランド力強化事業	農林水産課	○	草津あおばな会と連携し、あおばなの普及啓発の取組を進めた。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
農業振興対策事務(たんぼのこ体験事業)	農林水産課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
19	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	実数	3.1	3.2			
		偏差値	55.2	57.9			
26	暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる	実数	3.6	3.7			
		偏差値	56.4	58.5			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)									

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	農林水産
基本方針	水産業の振興		基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	18-02-①	施策名	漁業環境の保全・確保	

施策の概要
漁港の適正な管理を行い、漁業環境の保全・確保に努めます。

成果指標(単位)	漁獲量(kg)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	14,507	14,507	14,507	14,507
実績値	14,507	8,842			

成果指標実績に対するコメント
令和7年度の漁獲量実績は8,842kgとなり、令和6年度より5,665kg減少し、目標値を達成することができなかった。

施策の達成度評価
琵琶湖の環境変化による栄養悪化などが生じたことに加え、漁業者の減少および高齢化に伴う担い手不足が影響し、成果指標の目標値を達成することはできなかった。こうした厳しい状況下ではあるが、指定管理者による適切な漁港管理を継続するとともに、琵琶湖一斉清掃や水産多面的機能発揮対策事業による水草除去など、漁場環境の保全活動を通じて、在来魚が生育しやすい環境づくりに努めた。
当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.26 暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる」があり、昨年度偏差値を上回る結果であった(上昇率は2.1ポイント)。こうした偏差値の上昇も踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き同事業を推進したい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
引き続き、指定管理者による適切な漁港管理を行うとともに、琵琶湖一斉清掃や水産多面的機能発揮対策事業による水草除去といった漁場環境の保全活動を推進する。あわせて、漁業者の減少・高齢化が進行する中でも持続可能な保全活動が維持できるよう、将来的な漁港のあり方について、関係機関等と協議を進める。
当該施策は、漁業環境の保全・確保だけでなく「No.26暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる」といったウェルビーイング向上にも資する取り組みであると考えており、こうした上昇傾向を踏まえ、引き続き、ウェルビーイング向上の観点からも同事業を推進したい。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
漁港管理事業	農林水産課	○	指定管理者による適切な漁港管理を行うことができた。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
26	暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる	実数	3.6	3.7			
		偏差値	56.4	58.5			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)		44							

■ 施策評価シート 18-02-②

まちづくりの基本目標	「魅力」あふれるまち		分野	農林水産
基本方針	水産業の振興		基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	18-02-②	施策名	漁業・水産資源の多面的利活用の促進	

施策の概要
水産まつりでの体験型イベントの開催など、水産資源の魅力発信による地場産物の消費拡大や、着地型観光などによる漁港の利活用に努めます。

成果指標(単位)	水産まつりにおける体験型イベントへの参加者数				
	令和6年度 (※基準値)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値		800	800	800	800
実績値	400	700			

成果指標実績に対するコメント
令和7年度のイベント参加者数は、700人であり、令和6年度より300名増加したものの、目標値を達成することができなかった。

施策の達成度評価
関係各所に草津水産まつりの紹介を行い、幅広く水産の振興を図った。
当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.26暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる」があり、昨年度偏差値を上回る結果であった(上昇率は2.1ポイント)。こうした偏差値の上昇も踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き同事業を推進したい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
関係機関との協議を行い、今後の漁港の利活用や地場産物の消費拡大や水産振興を図る。
当該施策は、漁業・水産資源の多面的利活用の促進「No.26暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる」といったウェルビーイング向上にも資する取り組みであると考えており、こうした上昇傾向を踏まえ、引き続き、ウェルビーイング向上の観点からも同事業を推進したい。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
水産振興協議会活動補助事業	農林水産課	○	草津市水産振興協議会に対する補助金の交付により、水産振興を図った。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
26	暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる	実数	3.6	3.7			
		偏差値	56.4	58.5			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)									